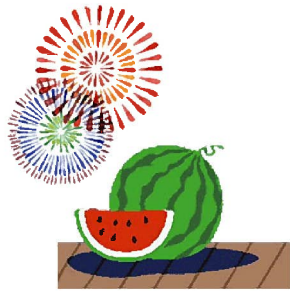


せったん

第141号 2012年8月5日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



記念講演講師の二宮厚美先生

北摂・丹波支部は、7月21日に第24回支部総会を開催、総会議事・記念講演に10人が参加した。
総会議事では、2011年度活動のまとめ、12年度活動方針案を森下順彦支部長が提案、「昨年度も診療報酬改定に伴う内科・歯科の点数数研究会や院内感染対策研修会、接遇研修会など会員ニーズに合う企画を開催するとともに、市民対象の映画上映会と学習会では、東日本大震災を踏まえて放射線被害や原発問題を取り上げた。今年度も引き続き多くの会員に参加いただけるように魅力ある支部活動を続けてい

第24回支部総会開く

「魅力ある支部活動に多数のご参加を」

「消費税・TPP・原発」をテーマに記念講演

きたい」と述べ、支部活動への協力を求めた。

記念講演は「社会保障と税の一体改革、TPPと日本の医療」をテーマに、神戸大学名誉教授の二宮厚美先生が講演。

二宮先生は、「野田政権は国民との3つの対決点となっている『原発、消費税、TPP』のいずれにおいても国民の支持を失っている」として、それぞれの焦点となっている問題点を解説した。

最初に、原発をめぐる問題については、毎週金曜日に行われている官邸包囲デモなど市民レベルの脱原発運動の盛り上がりについて、「安保の時代を彷彿とさせるもので、日本でこのようなことが起こることは予想できなかったこと」と感慨を述べた。

また、消費税については、所得(消



支部は5月19日に丹波市氷上住民センター、6月23日に三田市総合福祉保健センターにおいて、毎年好評の職員接遇研修会を開催した。

講師は企業研修等でも活躍されている松田幸子先生。今年も、昨年のアンケートで要望が多かったクレーム対応と敬語の使い方について、初級編と上級編に分けて学習した。両会場合わせて62人が参加した。

【参加者の感想から】

★具体的なエピソードや言葉で教えていただいたので大変わかりやすかったです。言葉の掛け違いもあり、こちらがきちんと伝えたいつもりでも伝わっていないことがあります。今日の学んだことを活かしていきます。(医療事務)

★こちらの状況を伝えるとは相手にとっては「言い訳」にしか聞こえないことを知り、とても勉強になりました。患者さんが不快にならない対応ができるように頑張ります。(歯科助手)

★年配の方と接する機会が多く敬語を用いています。時折おかしな日



ロールプレイで患者対応のポイントを学ぶ

本語になっていることに気付きます。本日の講義を参考にさせていただきます。(医師)

★日本語は難しいなと思いました。普段は付加形式の敬語をよく使っています。交換形式の敬語を自然と使えるようになりたいです。パークトな敬語を使うことも大事ですが、相手への敬意を示すことが大切です。(医療事務)

★普段使っている敬語は、二重敬語になっていたり、思いの外ちゃんと使えていないことに気付きました。日常に使える言葉をたくさん学べ、とても勉強になりました。(医療事務)



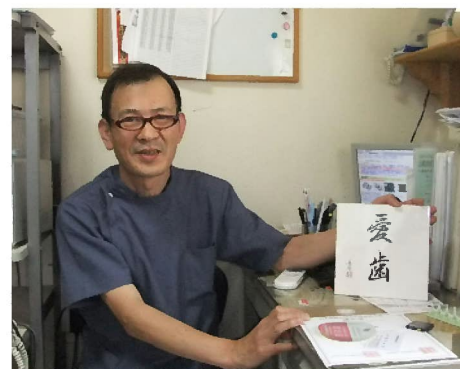
森下順彦支部長(右)と議長を務める武中睦美副支部長(左)

会員訪問
インタビュー⑦

「人を愛して、
歯を愛して」

三田市・中西歯科医院

中西 透 先生



ご友人が作られた美濃焼きの「愛歯」
を手に。支部幹事の中西透先生

今回の訪問インタビューは、開業されて28年となられた支部幹事の中西透先生(三田市高次・中西歯科医院)をお訪ねした。

最初に、歯科医を目指されたきっかけをお聞かせください。
中西透先生(以下、中西)

電子工学に関心があり、高校生の頃はその方面へ進むことも考えていましたが、篠山の河原町で歯科を開業していた叔父の影響や、ずっと地元で仕事ができるということもあって、最終的に歯科医の道を選びました。

ただ、今でも電子工学への興味が尽きず、友人と会社を立ち上げ、研究にも関わっています。人工衛星で使う超小型の無線機やマラソンの計測チップを開発していますよ。

―地元で開業して30年近く診療されてこられて、患者さんの状況や先生ご自身のことで日々感じてもらえることをお聞かせください。

中西 開業した当初は、10歳毎に診療時間を1時間ずつ短くして、60歳になればソフトウェアインテグレーションという展望があったのですが、現実の情勢は厳しくてなかなか思ったようにはならないですね。

この地域でも、若い人が減って、高齢者が増えていますが、医療費の負担増での受診控えを感じます。患者さんも当初の6割程度になっているように思います。

今は小学生まで負担がないので、初期に処置が出来るようになりましたが、負担割合を低くすることが結局医療費を少なくすることに繋がると思います。高齢者の2割負担はやめるべきで、高い保険料と窓口負担の二重苦になっています。

自分の医院のことで言うと、これまで6人の若い先生に勤務医として研修してもらい複数で診療してきましたが、去年からはひとりで診療するようになりました。6人の先生もそれぞれ開業して活躍されていることを嬉しく思っています。それと現在、大阪の歯科衛生士学校で若い未来の衛生士を育成しています。それぞれ卒業後活躍してくれていることも嬉しいことです。

―現在は支部幹事としてもご活躍いただいています。保険医協会への入会や支部との関わりはどの程度ですか。

中西 協会には開業してしばらく経った頃に、保険医年金を利用するために入りましたが、当時支部幹事をされていた辻井寧繁先生にお誘いいただいて幹事会にも出るようになりました。幹事会は、医科の先生も一緒にざつくばらんに話が出るのがいいですね。

支部では、いろんなことをやっているのですが、若い先生にぜひ参加していただきたいですね。幹事会にも気楽に参加してもらえたらと思います。

―先日は、協会の国会要請行動や「大飯原発視察会」にもご参加いただきました。

中西 以前から要請行動に参加したいと思っていましたが、やはり直接訴えることは大事だと思いません。私たちとは立場の違う議員さんにも「また来たか」と思われるくらいにならないといけないですね。次の機会にもぜひ参加したいと思っています。

原発の視察会は、国会議員に再稼働反対を要請しているのに、自分が現場を知らないのではだめだと思っただけでしたが、やはり現場に足を運ばないとわからないことがたくさんありますね。

―休日には農業もされておられて、去年は「そば」を作られたとお聞きしていましたが。

中西 開業医には定年退職というものはありませんが、人生設計の中で余暇の時間をどう作るかを考えています。大地に触れて実りあるものを作る、自然の恵みを感じる生活がしたいというのが、将来の希望ですね。そのために、今の時間がある時には、畑仕事もしていますよ。

―最後に、先生の毎日の診療でのモットーをお聞かせください。

中西 自分が責任を持てる範囲で、きつちりと診療していくこと、「人を愛して、歯を愛して」を心がけています。

―お忙しいところありがとうございます。



国会要請行動にて石井一(上)、山下よしき(下)各参院議員に要請(6/7)



大飯原発視察会にて海から原発を遠望(7/15)

